

付録1 ワークショップリスト

ドイツ連邦軍軍事史・社会科学研究所（ドイツ、ポツダム）での 国際ワークショップ

「第一次世界大戦の終結——軍、軍事思想、軍事計画に及ぼした 影響」

2019年7月25日～27日

26日 12:00～12:45 阿部 昌平（NIDS）

「第一次世界大戦が日本陸軍の戦術上の発展に及ぼした影響」

第1回 日本-ドイツ ワークショップ（日本、東京）

2019年9月4日～5日

4日 13:30～14:20 石津 朋之（NIDS）

「日本と第一次世界大戦」

14:20～15:10 フランク・ライヒヘルツァー（ZMSBw）

「戦争と平和の狭間で、戦争と社会の全体化」

15:30～16:30 マルクス・ペールマン（ZMSBw）

「ハインツ・グデーリアン将軍とドイツ装甲部隊の進化、
1935～1945年」

16:30～17:00 討議

5日 10:00～10:50 ミヒャエル・エプケンハンス（ZMSBw）

「第二次世界大戦における海洋戦略」

10:50～11:40 庄司 潤一郎（NIDS）

「太平洋戦争の終結——日本の視点」

11:40～12:00 討議

第2回 日本-ドイツ ワークショップ (ドイツ、ポツダム)

2019年11月19日～20日

- 19日 10:15～11:15 エミリー・テルレ (ZMSBw)
個人的な追悼のための小旅行／ドイツ軍駐留地の訪問
- 14:00～15:00 「追憶の森、死の甘受——今、戦死した兵士を悼むには」*
ヘルン・ヘルト (ZMSBw)
「駐屯都市ポツダム——戦争中の都市」*
- 15:00～16:00 クリス・ヘルメツケ (ZMSBw)
「軍の効率性とは？」*
- 20日 9:00～10:00 デニス・ヴェルベルク (ドレスデン陸軍士官学校)
「鉄兜団(Der Stahlhelm) —20世紀ドイツの右翼運動」
- 10:00～11:00 清水 亮太郎 (NIDS)
「北進論——日本陸軍の戦略と極東における国際情報戦」
- 11:00～12:00 フランク・ケーザー (ZMSBw)
「公文書管理の視点から見た日独戦史」
- 14:00～16:00 フランク・ライヒヘルツァー (司会)(ZMSBw)
オープンディスカッション「第二次世界大戦の国内的、
地域的、国際的な再検討の間で」*

* 本冊子に未掲載

第3回 日本-ドイツ ワークショップ (オンライン)

2021年8月10日

10日 16:05 ~ 16:30 (9:05 ~ 9:30)

進藤 裕之 (NIDS)

「攻勢から防勢へー太平洋戦争における日本の戦略
1942 - 44年」

16:30 ~ 16:55 (9:30 ~ 9:55)

花田 智之 (NIDS)

「第二次世界大戦期におけるソ連軍指導部の対日・対
独認識」

17:30 ~ 17:50 (10:30 ~ 10:50)

イーナ・クラフト (ZMSBw)

「欧州の多国籍軍」

17:50 ~ 18:10 (10:50 ~ 11:10)

マルティン・レーゼ (ZMSBw)

「戦闘地域」から「戦略的ハブ」へ：1990年代前期の
ドイツ連邦軍最高司令部における戦争コンセプトの転換

18:30 ~ 19:00 (11:30 ~ 12:00)

討議

(カッコ内はドイツ時間)